

福岡市との交流連携 ～西九州道がつなぐ歴史観光ルート～

松浦市は、昨年5月に福岡市西区の今津校区自治協議会と元寇史跡を縁に「交流連携協定」を結び、互いの地域資源を活用して観光振興施策を実施しています。

先日、今津元寇防塁・松原愛護会に参加させていただきました。国指定史跡今津元寇防塁等の歴史資源や豊かな自然環境などを活用した観光客の誘客対策について熱心に協議がなされ、松浦市福岡事務所としても、互いの歴史観光資源の魅力を高めるために連携を図っていくことを再確認しました。

今年度から新たに、香港市場をターゲットとして、福岡市など4つの自治体と連携して「レンタカーで行くリラックス・リフレッシュの旅」事業に取り組むこととしています。今後も松浦市への誘客を図るために福岡市との連携を深め、西九州自動車道を活用した取り組みを進めていきます。



▲今津元寇防塁・松原愛護会に参加



▶今津公民館内
「松浦市鷹島
プチ博物館」

問合せ先

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180

✉ matsura.f@city.matsuura.lg.jp



わたしたちの郷土

146
巻



鷹島小学校水中考古学クラブの活動開始!

鷹島小学校の総合学習クラブ活動「鷹島小学校水中考古学クラブ」が6月11日からはじまりました。

このクラブ活動は、水中考古学研究センターの普及活動の一環として行うもので、全8回実施予定です。

第1回の活動では、市立水中考古学研究センター職員が出向いて授業を行いました。子どもたちは、自分たちが住んでいる鷹島の地図を描いたり、それぞれ地元の自慢話を発表するなど、楽しく学習ができました。

引き続き、市立埋蔵文化財センターの見学や『蒙古襲来(元寇)』の読み解き、遺物の保存処理などについて学んでいきます。

通常の学校の授業では、学ぶことのできない鷹島における蒙古襲来(元寇)の歴史や水中考古学の重要性について、クラブ活動を通して子どもたちに伝えていきます。





国際交流活動 in まつうら

今月は離任される ALT の先生からのメッセージです



● さよなら、ティーガン先生

ALT のティーガン先生が、7月28日を持って、松浦市での勤務を終え、オーストラリアに帰国することになりました。

ティーガン先生からのメッセージを紹介します。

『私が松浦に来てから5年も経ってしまったなんて信じられません。時間が経つのは早いですね。ほんの数か月前に市報用に自己紹介文を書いたような気がしますが、もうお別れの言葉を書いているなんて。この5年間本当に色々なことがありました。』

松浦で過ごした日々を忘れることはないでしょう。ここで働き始めた頃、1週間のうちで楽しみだったのが、福島県養源小学校へ車に向かう時でした。運転中、学校に続く細い山道を登ったり、棚田を見たりしました。夏には時々車を止めて、棚田と眼下に広がる稲穂の波をながめたりしました。この棚田の風景や、青島の美しいビーチ、雨の日の山々にかかる雲の様子、トトロ

の映画に出てくるような生き茂った深い森などの九州の美しい自然は、松浦を離れた後もきっと思い出することでしょう。

この他にも、ここで出会った人々、ALTの仲間たちや地元の人々と育んだ生涯変わることのない友情をいつも思い出することでしょう。ここで教えた児童・生徒の皆さんのことも忘れることはないでしょう。私は市内11校で教えました、子ども達の笑顔はこれからも私と共にあります。

今はまだ、未来に何が待っているのか分かりません。オーストラリアに帰国したら、どのように人生を進めるかよく考えなくてはなりません。どこの街に住むことになるかもまだ分かりません。でも、どこに行っても、どんな仕事に就いても、松浦で過ごした日々を忘れません。松浦の皆さん、5年間ありがとうございました。』



図書館へ行こう！ ～本を読みたくなる気持ち にスイッチ・オン！～

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日開館（年末年始、臨時休館を除く）
休館日は行事カレンダーをご覧ください。

本でつながる BOOK リレー ③



紹介する本のタイトル

『天平の躰』

井上靖著／新潮社ほか

紹介する人

氏名：小高 秀二さん

職業：松浦市地域おこし協力隊

このコーナーでは、皆さんの本や読書にまつわる思い出、エピソードなどをご紹介します。

物心がついた時にはすでに本が大好きだった僕は、中学生の時に一冊の本に出会いました。よく中学生でこれを読もうと思ったものだ、我ながら笑ってしまいます。

意味が分からないところは読み飛ばしながら、それでも読み進めるうちに、物語の登場人物一人ひとりに強く心を動かされながら夢中になって読み終えたことは今でも覚えています。

同じものも、前から上から横から、見る場所で形は変わります。目をつむって見ないことだってできます。だから目の前にあるものに対し、どうやって向き合うかは自分自身が決めなくちゃいけなくて、その結果は良くも悪くも自分自身が選んだ答えだ、と教えられました。でも、今の自分は、それができている？

今まで3,000冊以上の本を読んだと思いますが、その中で一番は？という問いに答えるのは難しい。ですが、この『天平の躰』は必ず候補の一冊として頭に浮かびます。ああ、また読みたくなってきた。

イベント情報

- おはなし会(おはなしのへや)
7月1日、15日、22日 午前11時～
8日 午後2時～
- 図書館に水族館をつくろう！(図書館)
7月1日(日)～29日(日)
本を借りて図書館をお魚でいっぱいにして！
- ブックカバーをつくろう！(図書館)
7月16日(月・祝) 午後2時～4時
包装紙や紙バッグで作る簡単ブックカバー作り
- めざせ！図書館マスター(図書館)
7月22日(日)
小学生を対象に、知っておくと役に立つ図書館や本の使い方をクイズやゲームで楽しく学びます。
※詳細は図書館までお問い合わせください。
※予定は変更になることがあります。

お知らせ

- 課題図書、夏休みの自由研究、工作に役に立つ本を特設コーナーで紹介します。(7月18日～)
- ※課題図書の貸出しは一人1冊まで、期間は8日間です。